

たゆまざる 歩みおそろし カタツムリ

この秋休みには、新人体育大会の体操競技の県大会が行われました。男子団体が4位入賞、そして、女子団体は優勝です。先日は陸上競技の県大会の女子円盤投げで井桁さんが優勝をしたという報告をしたばかりです。続いての快挙を大変うれしく思います。先ほど、2年生の代表生徒が「自分の弱さと向き合い、乗り越えたい」という抱負を述べてくれました。その努力の積み重ねが、素晴らしい結果につながるのだと思います。

さて、後期始業式にあたり「積み重ねることの大切さ」についてお話をします。熊谷駅北口に熊谷次郎直実公が馬にまたがっている姿の銅像があります。あの銅像を制作したのは、日本を代表する彫刻家・北村西望さんです。星川の「戦災者慰霊の女神像」も北村さんの作だそうです。これほど熊谷市に縁の深い北村さんの代表作は、長崎県の平和祈念像です。原爆投下による犠牲者の冥福や世界の平和を祈る象徴ともなっています。

今から約70年前、北村さんが平和祈念像を制作している時のことです。ある晩、像の足元にいたカタツムリが、翌朝みると、何と10メートルもある像の天辺に上っていたのだそうです。北村さんは、小さな生き物の懸命な姿を目の当たりにして、少しずつでも進み続けることは素晴らしいと感動して、こんな句を詠んだのだといいます。「たゆまざる 歩みおそろし カタツムリ」です。北村さんは、この句について次のように述べています。「私はこの句が大好きである。いつの間にか、100歳になったが、自分の足跡のように思えてならない。私は天才ではない。だから、人が5年でやることを、私は10年かけてもやらなければならない。」北村さんは、この精神で102歳でお亡くなりになるまで、カタツムリのように小さな一歩を積み重ねてきたのだと思います。



数日前の前期終業式では、世界陸上に出場した北口榛花選手の「やりがまっすぐとびますように」という言葉を例に、「基本中の基本を大切にすること」についてお話をしました。皆さんがこれから何かを成し遂げたいのであれば、基本中の基本を大切にしたい上で、北村さんのように、一つ一つの努力を積み重ねることが、何事かを成し遂げる唯一の方法なのだと思います。

令和7年度後期、皆さんが頑張りたいことは何ですか？目標を改めて定めて下さいね。そして、基本中の基本を大切に、小さくてもいいから確実に一步一步進んでいてください。始業式の式辞は以上です。

熊谷市立富士見中学校長 田沼良宣